

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4486319号
(P4486319)

(45) 発行日 平成22年6月23日(2010.6.23)

(24) 登録日 平成22年4月2日(2010.4.2)

(51) Int.Cl.	F I
G09G 3/36 (2006.01)	G09G 3/36
G02F 1/133 (2006.01)	G02F 1/133 575
G02F 1/1335 (2006.01)	G02F 1/1335 520
G02F 1/13363 (2006.01)	G02F 1/13363
G09G 3/20 (2006.01)	G09G 3/20 612F
請求項の数 27 (全 31 頁) 最終頁に続く	

(21) 出願番号	特願2003-130602 (P2003-130602)	(73) 特許権者	390019839
(22) 出願日	平成15年5月8日(2003.5.8)		三星電子株式会社
(65) 公開番号	特開2004-4828 (P2004-4828A)		SAMSUNG ELECTRONICS
(43) 公開日	平成16年1月8日(2004.1.8)		CO., LTD.
審査請求日	平成18年2月2日(2006.2.2)		大韓民国京畿道水原市靈通区梅灘洞416
(31) 優先権主張番号	2002-025539		416, Maetan-dong, Yeongtong-gu,
(32) 優先日	平成14年5月9日(2002.5.9)		Suwon-si,
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)		Gyeonggi-do 442-742
(31) 優先権主張番号	2003-016992	(74) 代理人	100094145
(32) 優先日	平成15年3月19日(2003.3.19)		弁理士 小野 由己男
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)	(74) 代理人	100106367
			弁理士 稲積 朋子
最終頁に続く			

(54) 【発明の名称】 階調電圧発生装置及び階調電圧発生方法及びこれを利用した反射-透過型液晶表示装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

透過モード階調データの入力を受け取る段階と、
 透過モード有効階調電圧範囲に対する透過モード階調データの対応関係を利用して反射モード有効階調電圧範囲に対応する真正反射モード階調データを算出する段階と、
 前記真正反射モード階調データのうちの整数部分を抽出して第1反射モード階調データを算出する段階と、
 N個のフレームを周期にして前記第1反射モード階調データと前記第1反射モード階調データに所定の整数値を加えた値を所定の比率に配列して第2反射モード階調データを算出する段階と、
 前記第2反射モード階調データに前記透過モードの階調数と前記反射モード階調数の差異分に相当する所定の擬似階調データを埋め込むことにより第3反射モード階調データを算出する段階と、
 透過モードである場合に前記透過モード階調データを利用して透過モード階調電圧を生成する段階と、
 反射モードである場合に前記第3反射モード階調データを利用して反射モード階調電圧を生成する段階と、
 を含む反射-透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項2】

前記第2反射モード階調データを前記N個のフレームに対して時間的に平均化させた値

が、前記N個のフレームに対して前記真正反射モード階調データを時間的に平均化させた値と実質的に同一である、請求項1に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項3】

前記真正反射モード階調データのうちの少数点以下部分は前記真正反射モード階調データのうちの少数点以下部分をk個(kは2以上の自然数)レベルの少数点以下値に対応する二進値を有するように変換した制御データを算出する段階をさらに含む、請求項1に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項4】

前記所定の比率は前記制御データに相応して定まる、請求項3に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

10

【請求項5】

前記真正反射モード階調データは $[(G_n(T) \times x \times N) + y] \div N$ (ここで、 $G_n(T)$ は透過モード階調データ、 x は1以下の正の実数、 y は整数値)により算出される、請求項1に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項6】

前記 x 値は前記反射モード有効印加電圧範囲を前記透過モード有効印加電圧範囲で除算することにより算出される、請求項5に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項7】

20

前記 y 値は前記反射モード有効階調電圧範囲での電圧 - 反射率曲線と前記透過モード有効階調電圧範囲での電圧 - 反射率曲線との誤差を減少させるための整数値を有する、請求項5に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項8】

前記 y 値は階調別に互いに異なる値を有する、請求項7に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項9】

前記N値は4である、請求項5に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項10】

30

前記第2反射モード階調データを算出する段階は、
前記N個のフレームに対するフレーム同期信号をカウントしてN個の整数値を有するフレームカウント値を算出する段階と、
前記各制御データに対して前記第1反射モード階調データに1を加えた第4反射モード階調データを前記制御データ値に相応する第2個数ほど算出する段階と、
前記N個のうちの前記第2個数を引いた第3個数ほどの第1反射モード階調データを算出する段階と、
前記各制御データに対して前記第3個数ほどの第1反射モード階調データ及び前記第2個数ほどの第4反射モード階調データを配列して前記第2反射モード階調データを算出する段階とを含む、請求項3に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

40

【請求項11】

第2反射モード階調データはフレームレートコントロール(frame rate control)方式を利用して算出される、請求項1に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項12】

前記第1反射モード階調データはレッド(Red)、グリーン(Green)及びブルー(Blue)カラー各々に対して算出する、請求項1に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項13】

透過モード階調データの入力を受けて透過モード有効階調電圧範囲に対する透過モード

50

階調データの対応関係を利用して反射モード有効階調電圧範囲に対応する真正反射モード階調データを算出し、前記真正反射モード階調データのうちの整数部分を抽出して第1反射モード階調データを算出し、前記真正反射モード階調データのうちの少数点以下部分に相応する制御データを算出する第1反射モード階調データ算出部と、

一つのフレームを周期に出力されるフレーム同期信号の入力を受けて毎フレームをカウントしてN個のフレームに対するフレームカウント値を提供するフレームカウント部と、

前記N個のフレームを周期にして前記第1反射モード階調データと前記第1反射モード階調データに所定の整数値を加えた値を所定の比率に配列して第2反射モード階調データを算出する第2反射モード階調データ算出部と、

前記第2反射モード階調データに透過モード階調数と反射モード階調数の差異分に相当する所定の擬似階調値を埋め込むことにより第3反射モード階調データを算出する第3反射モード階調データ算出部と、

透過モードまたは反射モードであるか否かを判断してモード決定信号を提供するモード判断部と、

前記判断の結果、透過モードである場合に前記透過モード階調データを提供し、反射モードである場合に前記第3反射モード階調データを提供する階調データ選択部とを含む、反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項14】

前記制御データは前記真正反射モード階調データのうちの少数点以下部分をk個(kは2以上の自然数)レベルの少数点以下値に対応する二進値に変換した値を有する、請求項13に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項15】

前記所定の比率は前記制御データに相応して定まる、請求項14に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法。

【請求項16】

前記真正反射モード階調データは $[(G_n(T) \times x \times N) + y] \div N$ (ここで、 $G_n(T)$ は透過モード階調データ、 x は1以下の正の実数、 y は整数値) により算出される、請求項13に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項17】

前記x値は前記反射モード有効印加電圧範囲を前記透過モード有効印加電圧範囲で除算することにより算出される値である、請求項16に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項18】

前記y値は前記反射モード有効階調電圧範囲での電圧 - 反射率曲線と前記透過モード有効階調電圧範囲での電圧 - 反射率曲線との誤差を減少させるための整数値を有する、請求項16に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項19】

前記y値は階調別に互いに異なる値を有する、請求項18に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項20】

前記N値は4である、請求項16に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項21】

前記第2反射モード階調データ算出部は、前記第2反射モード階調データを前記N個のフレームに対して時間的に平均した値が前記N個のフレームに対して前記真正反射モード階調データを時間的に平均した値と実質的に同一である値を有する、請求項20に記載の反射 - 透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項22】

前記第2反射モード階調データ算出部は、

前記フレームカウント値及び前記制御データを選択端子から入力を受けて各制御データ

10

20

30

40

50

に対応して前記各制御データ値に相応する第2個数ほどの第4反射モード階調データ及び前記N個のうちの前記第2個数を引いた第3個数ほどの第1反射モード階調データを出力するマルチプレクサを含む、請求項21に記載の反射-透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項23】

前記第4反射モード階調データは前記第1反射モード階調データに1を加えた値である、請求項22に記載の反射-透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項24】

前記第1反射モード階調データはレッド(Red)、グリーン(Green)及びブルー(Blue)カラー各々に対して算出する、請求項13に記載の反射-透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

10

【請求項25】

前記透過モードまたは反射モードであるか否かの判断は、前記反射-透過型液晶表示装置のバックライトがターンオンされた場合に透過モードと判断し、前記バックライトアセンブリがターンオフされる場合には反射モードと判断する、請求項13に記載の反射-透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項26】

画素に階調電圧を印加するデータ駆動部、前記画素のスイッチング素子を制御するゲート駆動部及び反射モードでターンオフされ、透過モードでターンオンされる光源部を含む反射-透過型液晶表示装置に階調電圧を印加するための階調電圧発生装置において、

20

前記光源部のターンオンまたはターンオフに同期され前記光源部がターンオンされる場合に透過モード階調データを出力し、前記光源部がターンオフされる場合に反射モード階調データを出力する制御部と、

前記透過モード階調データ及び前記反射モード階調データの入力を受けてガンマ基準電圧を生成して前記データ駆動部に出力するガンマ基準電圧発生部と、

共通電圧を生成して前記画素に連結された共通電圧印加ラインに前記共通電圧を出力する共通電圧発生部とを含み、

前記制御部は、

透過モード階調データの入力を受けて透過モード有効階調電圧範囲に対する透過モード階調データの対応関係を利用して反射モード有効階調電圧範囲に対応する真正反射モード階調データを算出し、前記真正反射モード階調データのうちの整数部分である第1反射モード階調データを算出し、前記真正反射モード階調データのうちの少数点以下部分に相応する制御データを算出する第1反射モード階調データ算出部と、

30

一つのフレームを周期に出力されるフレーム同期信号の入力を受けて毎フレームをカウントしてN個のフレームに対するフレームカウント値を提供するフレームカウント部と、

N個のフレームを周期にして前記第1反射モード階調データと前記第1反射モード階調データに所定の整数値を加えた値を所定の比率に配列して第2反射モード階調データを算出する第2反射モード階調データ算出部と、

前記第2反射モード階調データに透過モード階調数と反射モード階調数の差異分に相当する所定の擬似階調値を埋め込むことにより第3反射モード階調データを算出する第3反射モード階調データ算出部と、

40

透過モードまたは反射モードであるか否かを判断してモード決定信号を提供するモード判断部と、

前記判断結果、透過モードである場合に前記透過モード階調データを提供し、反射モードである場合に前記第3反射モード階調データを提供する階調データ選択部を含む、反射-透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

【請求項27】

前記真正反射モード階調データは $[(G_n(T) \times x \times N) + y] \div N$ (ここで、 $G_n(T)$ は透過モード階調データ、 x は1以下の正の実数、 y は整数値)により算出される、請求項26に記載の反射-透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置。

50

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は階調電圧発生装置及び階調電圧発生方法及びこれを利用する反射 - 透過型液晶表示装置に関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

液晶表示装置は、上部基板、下部基板及び前記上部基板と下部基板との間に介された液晶層からなる。上部基板には共通電極とカラーフィルタなどが形成され、下部基板には薄膜トランジスタと画素電極などが形成されている。画素電極と共通電極間に電圧を印加することにより電界を形成して液晶分子の配列を変更させ、これを通じて光の透過率を調節することにより画像がディスプレイされる。

10

【0003】

液晶表示装置はその光源として別途のバックライトを使用するか、または自然光を反射させて利用するかにより、透過型液晶表示装置と反射型液晶表示装置に区分される。最近、必要により反射モードまたは透過モードに転換して使用することができる反射 - 透過型液晶表示装置が開発されている。

【0004】

従来の反射 - 透過型液晶表示装置において、反射モードに使用する場合と、透過モードに使用する場合に電気光学的特性が相異なるので、いずれか一方が優れている特性を示すと、他方は特性が顕著に低下されるという問題点がある。

20

【0005】

即ち、透過モードで最適の透過率とコントラスト比を示すように液晶のセルギャップとねじれ角などを調節すると、反射モードでは反射率とコントラスト比が顕著に低下され表示装置としての機能を発揮できないという問題が発生する。

【0006】

また、反射モードと透過モードで電圧による電圧 - 透過率 (Voltage - Transmittance; V - T) 曲線及び電圧 - 反射率 (Voltage - Reflectivity; V - R) に差異があるので環境により輝度特性が異なる。従って、反射モードと透過モードを同一な階調電圧発生回路に駆動すると、映像のディスプレイ品質が低下されることができる。

30

【0007】**【発明が解決しようとする課題】**

本発明の目的は、反射モードと透過モードでの印加電圧による輝度特性の差異を反映して透過モード階調データを反射モード階調データに変換する階調電圧発生方法を提供することにある。

【0008】

本発明の他の目的は、反射モードと透過モードでの印加電圧による輝度特性の差異を反映して透過モード階調データを反射モード階調データに変換する階調電圧発生装置を提供することにある。

40

【0009】

また、本発明の目的は、反射モードと透過モードによって相異なる階調電圧を印加するための階調電圧発生装置を提供することにある。

【0010】

また、本発明の他の目的は、透過モードと反射モードでの印加電圧による輝度特性の差異を反映して透過モード階調データを反射モード階調データに変換する階調電圧発生装置を有する液晶表示装置を提供することにある。

【0011】

また、本発明の目的は、反射モードと透過モードによって相異なる階調電圧を印加するための階調電圧発生装置を有する液晶表示装置を提供することにある。

50

【0012】

また、本発明の他の目的は、透過モードと反射モードで優れている特性を示す反透過型液晶表示装置を提供することにある

【0013】

【発明の解決するための手段】

上述した目的を達成するための本発明による反射透過型液晶表示装置の階調電圧発生方法は、透過モード階調データの入力を受ける段階と、透過モード有効階調電圧範囲に対する透過モード階調データの対応関係を利用して反射モード有効階調電圧範囲に対応する真正反射モード階調データを算出する段階と、前記真正反射モード階調データのうちの整数部分を抽出して第1反射モード階調データを算出する段階と、N個のフレームを周期にして前記第1反射モード階調データと前記第1反射モード階調データに所定の整数値を加えた値を所定の比率に配列して第2反射モード階調データを算出する段階と、前記第2反射モード階調データに前記透過モードの階調数と前記反射モード階調数の差異分に相当する所定の擬似階調データを埋め込むことにより第3反射モード階調データを算出する段階と、透過モードである場合に前記透過モード階調データを利用して透過モード階調電圧を生成する段階と、反射モードである場合に前記第3反射モード階調データを利用して反射モード階調電圧を生成する段階とを含む。

10

【0014】

上述した目的を達成するための本発明による反射透過型液晶表示装置の階調電圧発生装置は、透過モード階調データの入力を受けて透過モード有効階調電圧範囲に対する透過モード階調データの対応関係を利用して反射モード有効階調電圧範囲に対応する真正反射モード階調データを算出し、前記真正反射モード階調データのうちの整数部分を抽出して第1反射モード階調データを算出し、前記真正反射モード階調データのうちの少数点以下部分に相応する制御データを算出する第1反射モード階調データ算出部と、一つのフレームを周期に出力されるフレーム同期信号の入力を受けて毎フレームをカウントしてN個のフレームに対するフレームカウント値を提供するフレームカウント部と、前記N個のフレームを周期にして前記第1反射モード階調データと前記第1反射モード階調データに所定の整数値を加えた値を所定の比率に配列して第2反射モード階調データを算出する第2反射モード階調データ算出部と、前記第2反射モード階調データに透過モード階調数と反射モード階調数の差異ほど所定の擬似階調値により埋められて第3反射モード階調データを算出する第3反射モード階調データ算出部と、透過モードまたは反射モードであるか否かを判断してモード決定信号を提供するモード判断部と、前記判断の結果、透過モードである場合に前記透過モード階調データを提供し、反射モードである場合に前記第3反射モード階調データを提供する階調データ選択部とを含む。

20

30

【0015】

上述した目的を達成するための本発明による反射透過型液晶表示装置に階調電圧を印加するための階調電圧発生装置は、画素に階調電圧を印加するデータ駆動部、前記画素のスイッチング素子を制御するゲート駆動部及び反射モードでターンオフされ、透過モードでターンオンされる光源部を含む。階調電圧発生装置は、前記光源部のターンオンまたはターンオフに同期され前記光源部がターンオンされる場合に透過モード階調データを出力し、前記光源部がターンオフされる場合に反射モード階調データを出力する制御部と、前記透過モード階調データ及び前記反射モード階調データの入力を受けてガンマ基準電圧を生成して前記データ駆動部に出力するガンマ基準電圧発生部と、共通電圧を生成して前記画素に連結された共通電圧印加ラインに前記共通電圧を出力する共通電圧発生部とを含む。

40

【0026】

図面で複数層及び領域を明確に表現するために厚さを拡大して示した。層、膜、領域、板などの部分が他の部分“上に”あるとする時、これは他の部分“すぐ上に”ある場合だけでなく、その中間にまた他の部分がある場合も含む。一方、どんな部分が他の部分“すぐ上に”あるとする時には、中間に他の部分がないことを意味する。

50

【0027】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の望ましい一実施形態をより詳細に説明する。

【0028】

図1は本発明の第1実施形態による液晶表示装置の断面図である。

【0029】

第1実施形態による液晶表示装置は薄膜トランジスタ基板100、薄膜トランジスタ基板100と内側面同士向き合っているカラーフィルタ基板200、薄膜トランジスタ基板100とカラーフィルタ基板200との間に注入されている液晶層3、薄膜トランジスタ基板100の外側面に取り付けられている下部補償フィルム13、14、カラーフィルタ基板200の外側面に取り付けられている上部補償フィルム23、24、第2の下部補償フィルム14の外側面に位置する下部偏光板11、第2の上部補償フィルム24の外側面に位置する上部偏光板21及び下部偏光板11の下に位置するバックライトユニット350を含む。

10

【0030】

液晶層3の液晶分子は薄膜トランジスタ基板100からカラーフィルタ基板200に向かって一定なねじれを有するように水平配向されている(TN mode; Twisted Nematic mode)。ここで、液晶のねじれ角は $0^{\circ} \sim 50^{\circ}$ の値を有し、 n_d は $0.15 \sim 0.35$ の値を有する。液晶層3は密封材(sealant)310により薄膜トランジスタ基板100とカラーフィルタ基板200との間にある。

20

【0031】

上部と下部の偏光板21、11は偏光軸が互いに直交するように配置されており、補償フィルム13、14、23、24は $\lambda/4$ または $\lambda/2$ 逆分散位相差フィルムや $\lambda/4$ または $\lambda/2$ 正分散位相差フィルムを使用することができる。ここで、 $\lambda/2$ フィルムは省略し、上下に $\lambda/4$ フィルムのみ一枚ずつ取り付けることができる。例えば、逆分散 $\lambda/4$ フィルムのみ使用する場合にはその遅上軸(slow axis)を偏光軸に対し 45° をなすように配置し、偏光板支持体であるTACフィルム(セルローストリアセテートフィルム)の遅上軸(slow axis)は偏光板の偏光軸に対し 90° をなすように配置する。

30

【0032】

薄膜トランジスタ基板の各画素には透明電極と反射電極が全て形成され、反射電極には透過窓が形成されて反射モードと透過モード両側に使用可能であり、反射モードに使用する時はバックライトを消し、透過モードに使用する時のみバックライトをつける。バックライトの点滅と共にデータ駆動回路とゲート駆動回路も切り換えて、反射モードと透過モードにおいて階調電圧を異なるようにして印加する。

【0033】

このように、二つのモードにおいて階調電圧を異なるようにするために、ガンマ曲線の調整を行うための基準抵抗(以下、基準ガンマ抵抗)を二元化して使用したり、デジタルデータ変換方法を使用する。デジタルデータ変換方法としては、透過モードの場合には出力データと同一のビット数に使用し、反射モードの場合には透過モードの階調データを変換してビット数を低くし、フレームレートコントロール(Frame Rate Control; FRC)を適用する方法がある。詳細な説明は後述する。

40

【0034】

以下、液晶表示装置の薄膜トランジスタ基板について詳細に説明する。

【0035】

図2は本発明の第1実施形態による液晶表示装置用薄膜トランジスタ基板の配置図であり、図3は図2のIII-III線に対する断面図である。

【0036】

絶縁基板110上に低抵抗を有する銀または銀合金またはアルミニウムまたはアルミニウム合金からなった単一膜またはこれを含む多層膜からなっているゲート配線が形成されて

50

いる。ゲート配線は横方向に延びているゲートライン121、ゲートライン121の縁に連結されて外部からのゲート信号の印加を受けてゲートラインに伝達するゲートパッド125及びゲートライン121に連結されている薄膜トランジスタのゲート電極123を含む。続いて、ゲート配線が多層膜である場合には、他の物質と接触特性が優れるパッド用物質を含むことが望ましい。

【0037】

絶縁基板110上には窒化珪素(SiNx)などからなるゲート絶縁膜140がゲート配線121、123、125を覆っている。

【0038】

ゲート電極123のゲート絶縁膜140上部には非晶質珪素などの半導体からなった半導体層151が形成されており、半導体層151の上部にはシリサイドまたはn型不純物が高濃度にドーピングされている水素化非晶質珪素(a-Si:H)などの物質からなったオーミックコンタクト層163、165が各々形成されている。

10

【0039】

オーミックコンタクト層163、165及びゲート絶縁膜140上にはアルミニウムまたは銀のような低抵抗の導電物質からなった導電膜を含むデータ配線が形成されている。データ配線はゲートライン121と交差して画素を定義するデータライン171、データライン171に連結され抵抗性接触層163の上部まで延びられているソース電極173、データライン171の一侧縁に連結されており、外部からの画像信号の印加を受けるデータパッド179、ソース電極173と分離されており、ゲート電極123に対してソース電極173の反対側オーミックコンタクト層165上部に形成されているデータ電極175を含む。

20

【0040】

データ配線及びこれらが覆わない半導体層151上部には窒化珪素などの無機絶縁物質やアクリル系物質などの有機絶縁物質からなった保護膜801が形成されている。保護膜801はPECVD(plasma enhanced chemical vapor deposition)方法により蒸着されたa-Si:C:O膜またはa-Si:O:F膜(低誘電率CVD膜)などで形成されることができる。PECVD方法により蒸着されたa-Si:C:O膜とa-Si:O:F膜は誘電定数が4以下として誘電率が相当に低い。従って、厚さが薄くても寄生容量問題が発生しない。また、他の膜との接着性及びステップカバーレージ(step coverage)が優れる。また、無機質CVD膜であるので、耐熱性が有機絶縁膜に比べて優れる。共に、PECVD方法により蒸着されたa-Si:C:Oとa-Si:O:F膜(低誘電率CVD膜)は蒸着速度やエッチング速度が窒化珪素膜に比べて4~10倍速いので、工程時間面でも相当に有利である。

30

【0041】

保護膜801にはデータ電極175及びデータパッド179を露出するコンタクトホール181、183が形成され、ゲート絶縁膜140と共にゲートパッド125を露出するコンタクトホール182が形成されている。

【0042】

保護膜801上部にはコンタクトホール181を通じてデータ電極175と電氣的に連結されており、画素に位置する透明電極90が形成されている。また、保護膜801上にはコンタクトホール182、183を通じて各々ゲートパッド125及びデータパッド179と連結されている補助ゲートパッド95及び補助データパッド97が形成されている。ここで、透明電極90と補助ゲートパッド95及び補助データパッド97は透明な導電物質であるITO(indium tin oxide)またはIZO(indium zinc oxide)などからなる。

40

【0043】

透明電極90の上部には透明電極90の一部を露出するコンタクトホール184を有する層間絶縁膜802が形成されている。ここで、層間絶縁膜802は以後の反射膜80の反射効率を極大化するために、凹凸パターンを有することが望ましい。層間絶縁膜802は

50

窒化珪素などの無機絶縁物質やアクリル系物質などの有機絶縁物質またはPECVD方法により蒸着されたa-Si:C:O膜またはa-Si:O:F膜(低誘電率CVD膜)からなる。

【0044】

層間絶縁膜802の上部にはコンタクトホール184を通じて透明電極90と連結され、透過モード領域(T)に透過窓82を有する反射膜80が形成されている。反射膜80はアルミニウムまたはアルミニウム合金、銀または銀合金、モリブデンまたはモリブデン合金などのように高い反射率を有する導電膜からなり、透明電極90と共に画素電極になる。ここで、反射膜80の透過窓82は多様な形態に形成されることができ、一つの画素領域に複数で形成されることができる。上記で、層間絶縁膜802に凹凸パターンが形成されている場合であっても、透過窓82部分には凹凸パターンを形成しないことが望ましい。

10

【0045】

ここで、画素電極90、80は隣接する画素行の薄膜トランジスターにゲート信号を伝達する前段のゲートライン121と重畳され維持容量電極となる。場合によっては、維持容量を形成するためにゲート配線と同一な層に維持電極配線を形成することができる。

【0046】

カラーフィルタ基板200には色フィルタとブラックマトリックス及び共通電極が形成されている。

【0047】

以上では液晶のねじれ角は $0^{\circ} \sim 50^{\circ}$ の値を有するようにし、位相差値のパラメータであるndは $0.15 \sim 0.35$ の値を有するようにする。このようにすることで、透過モードと反射モード全てで十分な透過率と反射率及びコントラスト比を確保することができる。次はこれらを実験資料を通じて確認する。

20

【0048】

図4乃至図8は、第1実施形成によるTNモードで液晶のねじれ角及びndによるV-T曲線であり、図9及び図13は第1実施形態によるTNモードで液晶のねじれ角及びndによるV-R曲線である。図4乃至図13は次の[表1]の結果をグラフに示したものである。即ち、図4、図5、図6、図7、図8は各々ねじれ角が 0° 、 30° 、 50° 、 70° 及び 90° である場合を示し、図9、図10、図11、図12、図13は各々ねじれ角が 0° 、 30° 、 50° 、 70° 及び 90° である場合を示す。

30

【0049】

[表1]と図4乃至図13に示すように、ねじれ角を減少させるほど透過モードと反射モード全てでコントラスト比(CR)は減少するが、透過モードの透過率は非常に増加する。従って、透過率の観点から接近すると、ねじれ角を 0° とすることが望ましい。ねじれ角が $0^{\circ} \sim 50^{\circ}$ の値を有すると、透過率が13.9%以上で維持され、反射率も13.1%以上で維持される。

【0050】

一方、透過モードと反射モード全てで電圧が低くなるほど、透過率と反射率が段々増加し、電圧が所定値以下に下がると、反射率と透過率が再度減少する反転現象が示される。しかし、反転現象が示される電圧が透過モードと反射モードで相異なる。従って、階調を表示することができる印加電圧範囲が透過モードと反射モードで相異なるので、これを調整する必要がある。このために、本発明ではバックライトの点滅と共に階調電圧発生部も切り換えて反射モードと透過モードにおいて階調電圧を異なるようにして印加する。

40

【表1】

TN モード									
Mode		透過 型					反射 型		
ねじれ角	Δnd	透過率(%)	CR	電圧(v)	CR	電圧(v)	反射率(%)	CR	電圧(v)
0 (ECB)	0.18	18.5	50:1	0.5-4.5			13.1	18:1	1.2-4.5
	0.24	22.5	35:1	0.7-4.5			13.2	12:1	1.5-4.5
	0.30	22.7	23:1	1.1-4.5			13.1	8.4:1	1.7-4.5
	0.36	22.8	16:1	1.3-4.5			13.2	5.9:1	1.9-4.5
30	0.18	17.0	58:1	0.5-4.1			13.3	22:1	1.0-4.5
	0.24	20.2	41:1	0.7-4.2			13.4	15:1	1.3-4.5
	0.30	20.3	26:1	1.1-4.5			13.5	12:1	1.5-4.5
	0.36	20.1	18:1	1.3-4.1			13.7	8.4:1	1.7-4.5
50	0.18	13.9	82:1	0.5-4.2			13.8	28:1	0.7-4.5
	0.24	16.5	57:1	0.7-4.5			14.2	23:1	0.9-4.5
	0.30	16.3	37:1	1.1-4.5			14.8	21:1	1.1-4.5
	0.36	15.7	25:1	1.3-4.5			15.2	17:1	1.2-4.5
70 (TN)	0.18	10.4	162:1	0.5-4.5	72:1	0.5-3.5	9.1	15:1	1.0-3.5
	0.24	12.0	120:1	0.7-4.5	64:1	0.7-3.5	14.8	30:1	0.7-3.5
	0.30	11.3	76:1	1.1-4.5	39:1	1.1-3.5	14.9	30:1	0.9-3.5
	0.36	11.4	74:1	1.1-4.5	38:1	1.1-3.5	14.1	26:1	1.1-3.5
90 (TN)	0.18	6.8	354:1	0.5-4.5	307:1	0.5-3.0	10.2	18:1	0.5-3.0
	0.24	7.4	385:1	0.7-4.5	286:1	0.7-3.0	11.7	20:1	0.6-3.0
	0.30	6.6	334:1	1.1-4.5	200:1	1.1-3.0	10.9	18:1	0.9-3.0
	0.36	5.4	266:1	1.2-4.5	126:1	1.2-3.0	9.1	15:1	1.0-3.0

10

20

【0051】

図14は本発明の第2実施形態による液晶表示装置の断面図である。

【0052】

本発明の第2実施形態による液晶表示装置は、第1実施形態による液晶表示装置と液晶の配向状態を除外しては、同一な構造を有する。即ち、第2実施形態では液晶分子の長軸が二つの基板100、200の表面に対し垂直をなすように配向されている(AVモード: vertically Aligned mode)。

【0053】

ここで、液晶層3にはキラル(Chiral)ドーブ剤が所定量が添加され、液晶層の厚さ(セルギャップ)(d)の液晶分子のピッチ(p)に対するd/pが0~0.15程度になる。従って、電界印加時に液晶は0°~50°のねじれ角を有するように配列される。液晶のndは0.15~0.35を有する。

30

【0054】

図15乃至図18は、本発明の第2実施形態によるVAモードでのドーブ剤量及びndによるV-T曲線を示したグラフであり、図19乃至図22は本発明の第2実施形態VAモードでのドーブ剤量及びV-R曲線を示したグラフである。図15乃至図16は次の[表2]の結果をグラフに示すものである。即ち、図15、図16、図17、図18は各々ドーブ剤量が0、0.05、0.15、0.25である場合を示し、図19、図20、図21及び図22は各々ドーブ剤量が0、0.05、0.15、0.25である場合を示す。

40

【0055】

基本的に、TN-モードに比べてVA-モードの透過モードコントラスト比が非常に優れていることが分かる。従って、VA-モードを採択すると、TN-modeでのねじれ角が0°に近くなるほどコントラスト比が減少する問題を解決することができる。

【0056】

一方、[表2]と図15乃至図22に示すように、キラル(Chiral)ドーブ剤量を減少させるほど、反射率は極めて微々の下がるが、透過モードの透過率は懸隔に増加する。従って、透過率の観点で見ると、キラル(Chiral)ドーブ剤量を0とすることが

50

望ましい。

【 0 0 5 7 】

一方、透過モードと反射モード全てで電圧が高くなるほど、透過率と反射率が段々増加し、電圧が所定値以上に上がると、反射率と透過率が再度減少する反転現象が示される。しかし、反転現象が示される電圧が透過モードと反射モードで相異なる。従って、階調を表示することができる印加電圧範囲が透過モードと反射モードで相異なるので、これを調整する必要がある。このために、本発明ではバックライトの点滅と共に階調電圧生成部も切り替えて反射モードと透過モードにおいて、階調電圧を異なるようにして印加する。この構成を後述の図 2 6 にて示す。

【表 2】

VA モード							
Mode		透過型			反射型		
ドーブ剤	Δnd	透過率 (%)	CR	電圧 (v)	反射率 (%)	CR	電圧 (v)
0 (逆 ECB)	0.18	11.8	622:1	1.8-4.5	12.9	25:1	1.8-4.5
	0.24	17.4	911:1	1.8-4.5	13.0	26:1	1.8-3.6
	0.30	21.2	1100:1	1.8-4.5	13.0	26:1	1.8-3.1
	0.36	22.4	1160:1	1.8-4.3	13.0	23:1	1.8-2.9
0.05	0.18	11.4	599:1	1.8-4.5	12.9	25:1	1.8-4.5
	0.24	16.8	875:1	1.8-4.5	13.0	26:1	1.8-3.6
	0.30	20.4	1060:1	1.8-4.5	13.0	26:1	1.8-3.1
	0.36	21.5	1110:1	1.8-4.1	13.0	23:1	1.8-2.9
0.15	0.18	9.9	516:1	1.8-4.5	12.8	25:1	1.8-4.5
	0.24	14.4	746:1	1.8-4.5	13.1	26:1	1.8-3.7
	0.30	17.3	888:1	1.8-4.4	13.1	26:1	1.8-3.2
	0.36	18.8	955:1	1.8-3.8	12.2	24:1	1.8-2.9
0.25 (逆 TN)	0.18	7.6	365:1	1.8-4.5	12.2	24:1	1.8-4.5
	0.24	11.0	561:1	1.8-4.3	13.5	27:1	1.8-4.1
	0.30	13.6	685:1	1.8-3.8	13.3	26:1	1.8-3.5
	0.36	15.5	765:1	1.8-3.5	13.2	23:1	1.8-3.0

【 0 0 5 8 】

本発明の二つの実施形態のうち、最もよい結果を示す条件と、従来の技術による最もよい結果を比較すると、次の [表 3] のとおりである。

【表 3】

	液晶モード	Δnd	ねじれ角	d/p	反射モード		反射モード	
					印加電圧 (V)	反射率 (%) (C/R)	印加電圧 (V)	反射率 (%) (C/R)
従来技術 1	TN-モード	0.24	90°	0.07	0.7/3.0	7.4 (286)	0.6/3.0	11.7 (20)
従来技術 2	TN-モード	0.24	70°	0.07	0.7/3.5	12.0 (64)	0.7/3.5	14.8 (30)
実施形態 1	ECB-モード	0.24	0°	0.07	0.7/4.5	22.5 (35)	1.5/4.5	13.2 (12)
実施形態 2	VA (逆 ECB)	0.30	—	0	1.8/4.5	21.2 (1100)	1.8/3.1	13.0 (26)

前記の表から、キラル (Chiral) ドーブ剤を添加しない VA モードが最も優れている特性を示すことが分かる。

【 0 0 5 9 】

一方、本発明の実施形態による液晶表示装置では反射モードと透過モードの電圧別輝度曲線が異なるために、透過モードで反射窓により反射される光の影響を排除できないので、その影響を考慮しなければならない。

【 0 0 6 0 】

図 2 3 は V A モードでの印加電圧による透過率曲線と反射率曲線を示したグラフであり、図 2 4 は E C B (Electrically Controlled Birefringence) モードでの印加電圧による透過率曲線と反射率曲線を示したグラフである。

【 0 0 6 1 】

図 2 3 及び図 2 4 に示すように、透過モードの輝度と反射モードの輝度との比率により、最終透過輝度曲線が決定されるために、透過モードの階調電圧を決定するための階調測定時に一定な外部光標準を決定する必要がある。

10

【 0 0 6 2 】

図 2 5 は透過モードと反射モードでの印加電圧による透過率曲線と反射率曲線を示すグラフである。X 軸は電圧 (V o l t) を示し、Y 軸は反射率 (%) または透過率 (%) を示す。以下、6 4 階調を使用する場合、即ち、デジタル階調データとして 6 b i t を使用する場合を、例を挙げて説明する。しかし、本発明は 1 2 8 階調、即ち、階調データとして 8 b i t を使用する場合にも適用でき、6 4 階調及び 1 2 8 階調外の階調を使用する場合にも適用することができる。

【 0 0 6 3 】

図 2 5 に示すように、透過モードで液晶にかかる有効階調電圧範囲 (または有効印加電圧範囲) は 1 . 5 V ~ 4 V であり、反射モードで液晶にかかる有効階調電圧範囲は 1 . 5 ~ 3 V である。

20

【 0 0 6 4 】

即ち、透過モードと反射モードで液晶にかかる有効階調電圧範囲が相異なることが分かる。各々の有効階調電圧範囲は [表 2] に示したように、液晶モード、液晶のねじれ角度 (t w i s t a n g l e)、 n_d 及び d/p 値により異なる。

【 0 0 6 5 】

このように、反射モード及び透過モードで有効階調電圧範囲が相異なる場合、透過モードと反射モード両側でディスプレイ品質が低下されないようにする階調電圧発生方法及び装置について説明する。

30

【 0 0 6 6 】

図 2 6 は本発明の第 3 実施形態による液晶表示装置のブロック図である。

【 0 0 6 7 】

図 2 6 に示すように、液晶表示装置は液晶表示パネル 1 2 0 0、バックライト (B / L) アセンブリ 1 2 1 0、データ駆動回路 1 2 2 0、ゲート駆動回路 1 2 3 0、バックライト (B / L) ドライバ 1 2 1 4、制御部 1 2 6 0、共通電圧発生部 1 2 4 0 及びガンマ基準電圧発生部 1 2 5 0 とを含む。

【 0 0 6 8 】

液晶表示パネル 1 2 0 0 は薄膜トランジスタ及び画素電極からなった $m * n$ 個の画素がマトリックス状に配列されている下部基板 (図示せず)、R、G、B カラーフィルタと共通電極が形成されている上部基板 (図示せず)、前記上部基板と下部基板との間に介された液晶層 (図示せず) からなる。

40

【 0 0 6 9 】

共通電極ライン 1 2 0 4 を通じて共通電圧発生部 1 2 4 0 から発生された共通電圧が前記共通電極に印加される。ガンマ基準電圧発生部 1 2 5 0 から発生された反射モードガンマ基準電圧 1 2 5 6 はデータ駆動回路 1 2 2 0 に印加される。

【 0 0 7 0 】

データ駆動回路 1 2 2 0 は制御部 1 2 6 0 から出力されたデジタル画像データ R . G . B 1 2 6 7 により選択されたガンマ基準電圧 1 2 5 6 を階調電圧にして、データライ

50

ン(D1、D2、...、Dm)1202を通じて、R、G、Bからなった各画素電極に印加する。即ち、データ駆動回路1220は発生されたn段階 - 例えば、64段階または256段階 - のガンマ基準電圧のうちの一つのガンマ基準電圧をデジタル画像データR・G・B1267により選択してレッド、グリーン、ブルーの各液晶画素に印加することにより、n*n*nカラーを具現することができる。

【0071】

ゲート駆動回路1230は制御部1260からゲート駆動回路制御信号1264の入力を受けて、ゲートライン(G1、G2...、Gn)に液晶表示パネル1200の薄膜トランジスタのゲートを駆動するためにゲート駆動信号を印加する。

【0072】

バックライト(B/L)ドライバ1214はバックライト(B/L)1212に電源を供給してバックライト1212を点燈させる。例えば、反射モードである場合にバックライト1212をターンオフさせ、透過モードである場合にバックライト1212をターンオンさせる。

【0073】

制御部1260では、外部のグラフィックコントローラ(図示せず)から画像情報、即ち、R・G・Bデータ1206、垂直同期信号(Vsync)及び水平同期信号(Hsync)などの入力を受けてゲート駆動回路1230及びデータ駆動回路1220を動作させるための各種タイミング信号と画像情報を有するデジタルデータ信号を発生させる。

【0074】

また、制御部1260はバックライトドライバ1214からバックライト点燈に同期されたバックライト点燈感知信号1266の入力を受けて反射モードであるか透過モードであるかの可否を判断する。即ち、バックライト1212がターンオフされる場合に反射モードと判断して反射モードに転換させ、バックライト1212がターンオンされる場合に透過モードと判断して透過モードに転換させる。制御部1260ではバックライト点燈を感知する方式ではない内部プログラムにより反射モードから透過モードに転換することもできる。

【0075】

前記判断の結果、モード選択信号1268を出力して反射モードまたは透過モードに相応する共通電圧発生部1242、1244及びガンマ基準電圧発生部1252、1254を選択する。図面には図示せずが、別途のスイッチを設けて反射モードまたは透過モードに相応する共通電圧発生部1242、1244及びガンマ基準電圧発生部1252、1254を選択することができる。

【0076】

共通電圧発生部1240はモード選択信号1268の入力を受けて、反射モードである場合には反射モード共通電圧発生器1242から反射モード共通電圧1246を共通電極ライン1204に出力する。また、透過モードである場合には透過モード共通電圧発生器1244から透過モード共通電圧1246を共通電極ライン1204に出力する。

【0077】

前記共通電圧発生部1240は高電圧駆動方式と低電圧駆動方式を全て使用することができる。低電圧駆動方式は階調電圧の最大値と最小値を基準にして共通電圧を反転させながら、階調電圧を印加する方式であり、高電圧駆動方式は固定された直流値の共通電圧を基準にして階調電圧を印加する方式である。液晶が直流電圧の印加を受ける場合に劣化される特性があるので、各画素には共通電圧を基準にして1水平周期毎に反転されるポジティブ階調電圧とネガティブ階調電圧が印加されることができる。

【0078】

ガンマ基準電圧発生部1250はモード選択信号1268の入力を受け、反射モードである場合には反射モードガンマ基準電圧発生部1252から反射モードガンマ基準電圧1256をデータ駆動回路1220に出力する。また、透過モードである場合には透過モードガンマ基準電圧発生部1254から透過モードガンマ基準電圧1256をデータ駆動回路

10

20

30

40

50

1220に出力する。例えば、ガンマ基準電圧発生部1250は直列抵抗を通じた基準電圧を分割してガンマ基準電圧を生成することができる。

【0079】

前記共通電圧発生部1240またはガンマ基準電圧発生部1250のうちのいずれか一つは透過モードまたは反射モードで同一な共通電圧またはガンマ基準電圧を発生することができる。即ち、共通電圧発生部1240は反射モード共通電圧発生器1242と透過モード共通電圧発生器部1244からなり、ガンマ基準電圧発生部1250は反射モードと透過モードに関係なしに、一つのガンマ基準電圧発生部からなることができる。また、共通電圧発生部1240は反射モードと透過モードに関係なしに、一つの共通電圧発生部からなり、ガンマ基準電圧発生部1250は反射モードガンマ基準電圧発生部1252と透過モードガンマ基準電圧発生部1254からなることができる。

10

【0080】

R・G・Bデータ各々毎に相異なるV-T及びV-R曲線を有する。この場合、前記共通電圧発生部1240及びガンマ基準電圧発生部1250はR・G・Bデータ毎に透過モードまたは反射モードに相応する共通電圧及びガンマ基準電圧を発生することができる。

【0081】

図27は本発明の第4実施形態による液晶表示装置のブロック図であり、図28は図27の制御部の一構成例を示すブロック部である。図29は図28の第1反射モード階調データ算出部を利用して算出される第1反射モード階調データの一例を示すテーブルである。図30は図28の第2反射モード階調データ算出部、図33は図28の階調データ選択部の一構成例を示すブロック図である。図31は図30のマルチプレクサの制御入力値による出力値を示すテーブルであり、図32は図31の出力値をフレーム別に示した概念図である。以下、図26と同一な構成要素に対して同一な参照符号を使用し、その説明は省略する。

20

【0082】

図27に示すように、液晶表示装置は液晶表示パネル1200、バックライト(B/L)アセンブリ1210、データ駆動回路1220、ゲート駆動回路1230、バックライト(B/L)ドライバ1214、制御部1360、共通電圧発生部1340及びガンマ基準電圧発生部1350とを含む。図27は透過モード及び反射モードに関係なしに同一な共通電圧とガンマ基準電圧を液晶表示パネル1200に印加する場合である。

30

【0083】

制御部1360は外部のグラフィックコントローラ(図示せず)からの色相情報、即ち、R・G・Bデータ1206及び同期信号Hsync及びVsync1208の入力を受ける。例えば、R・G・Bデータ1206は透過モード階調データであり、R・G・B各々6bitのデジタルデータ、即ち、64階調を有することができる。ただし、R・G・Bデータ1206のデータビット数は必ずこれに限定されずに、8ビット(256階調)のデジタルデータまたは他のビット数のデジタルデータを有することができる。例えば、6ビットのデータ駆動回路を使用するノートブックコンピュータ、PDAのような携帯端末機(PDA)に適用する場合には、6ビットのR・G・Bデータ1206を使用する。

【0084】

以下、R・G・B各々64階調である透過モード階調データが入力され、液晶表示パネル1200のV-T及びV-R曲線が図25と同一であり、共通電圧発生部1340の共通電圧及びガンマ基準電圧発生部1350のガンマ基準電圧が透過モードに最適化されている場合について説明する。

40

【0085】

制御部1360は透過モードと判断される場合に、前記入力された64階調のR・G・Bデータ1206を透過モード階調データとしてデータ駆動回路1220に出力する。一方、制御部1360は反射モードと判断される場合に、前記入力された64階調のR・G・Bデータ1206を図25のV-T及びV-R曲線を利用して真正反射モード階調データに変換する。その後、垂直同期信号Vsyncを利用して真正反射モード階調データをN

50

個のフレームに対して時間的に平均化された疑似階調を埋めた R . G . B データ 1 3 5 2 をデータ駆動回路 1 2 2 0 に出力する。

【 0 0 8 6 】

共通電圧発生部 1 3 4 0 は共通電極ラインに所定の共通電圧を提供する。共通電圧発生部 1 3 4 0 は高電圧駆動方式と低電圧駆動方式を全て使用することができる。

【 0 0 8 7 】

ガンマ基準電圧発生部 1 3 5 0 はガンマ基準電圧を発生させてデータ駆動回路 1 2 2 0 に提供する。例えば、ガンマ基準電圧発生部 1 3 5 0 は直列抵抗を通じた基準電圧を分割してガンマ基準電圧を生成することができる。

【 0 0 8 8 】

図 2 8 に示すように、制御部 1 3 6 0 は第 1 反射モード階調データ算出部 1 3 1 0 a、フレームカウント部 1 3 3 0、第 2 反射モード階調データ算出部 1 3 2 2 a、第 3 反射モード階調データ算出部 1 3 2 6、反射及び透過モード判断部 1 3 4 0 及び階調データ選択部 1 3 5 0 とを含む。制御部 1 2 6 0 は一般の液晶表示装置駆動回路に含まれるタイミングコントローラ (T c o n) に対応する。図 2 8 ではタイミングコントローラ (T c o n) のその他の構成要素は省略して図示した。

【 0 0 8 9 】

第 1 反射モード階調データ算出部 1 3 1 0 a は透過モード階調データを反射モード階調データに変換する場合、変換後の階調間隔が線形的な特性を有する場合に適用することができる。一方、非線形的な特性を有する場合には、後述するルックアップテーブルを使用することができる。

【 0 0 9 0 】

第 1 反射モード階調データ算出部 1 3 1 0 a は外部のグラフィックコントローラ (図示せず) から各 R . G . B 別に 6 ビットの R . G . B データ 1 2 0 6 の入力を受け、カラー各々に対して第 1 反射モード階調データ D 1 3 1 2 及び制御データ d 1 3 1 4 を出力する。

【 0 0 9 1 】

第 1 反射モード階調データ算出部 1 3 1 0 a は透過モード有効階調電圧範囲と相異なる反射モード有効印加電圧範囲を反映して少数点値を有する真正反射モード階調データを算出する。図 2 5 に示すように、透過モードで液晶にかかる階調電圧が 0 階調は、1 . 5 V、6 3 階調は 4 V とする時、反射モードでは 0 V から 3 . 0 V までの階調電圧を使用する。ここで、透過モードでの有効階調電圧範囲は 1 . 5 V ~ 4 V である。または、透過モードでの有効階調電圧範囲は 0 V ~ 4 V とすると、反射モードでの有効階調電圧範囲は 0 V ~ 3 V である。

【 0 0 9 2 】

例えば、3 . 0 V の時の階調を 4 7 階調とする時、第 1 反射モード階調データ算出部 1 3 1 0 a は 0 乃至 6 3 階調の R . G . B 別透過モード階調データを 0 乃至 4 7 階調に対応させて真正反射モード階調データに変換する。

【 0 0 9 3 】

例えば、次の下記式 1 により透過モード階調データを真正反射モード階調データに変換することができる。

$$G_n(R) = [(G_n(T) \times x \times N) + y] \div N \quad \dots \text{式 (1)}$$

(ここで、 $G_n(R)$ は真正反射モード階調データ、 $G_n(T)$ は透過モード階調データ、 x は 1 以下の正の実数、 y は整数のオフセット値、 N は正の整数)

【 0 0 9 4 】

x 値は、例えば、透過モードが 6 4 階調を有して反射モードで 4 8 階調を有する場合、 $4 8 \div 6 4$ 、即ち、0 . 7 5 値を有することができる。または、 x 値は反射モード有効印加電圧範囲を透過モード有効印加電圧範囲に分けて算出することができる。 y 値は透過モード階調を対応される反射モード階調に変換させた場合に、変換された反射モードのガンマ曲線を緩慢にするためのオフセット値である。即ち、 y 値は反射モード有効印加電圧範囲での V - R 曲線と透過モード有効印加電圧範囲での V - T 曲線との誤差を減少させるため

10

20

30

40

50

の整数値を有する。y 値は階調別に互いに異なる値を有すると、誤差をさらに減少することができ好ましい。

【0095】

図29は式1により算出された真正反射モード階調データ($G_n(R)$)を示す。

【0096】

図29に示すように、0乃至63階調の透過モード階調データを0乃至47間の値を有する真正反射モード階調データに変換する場合、整数ではない少数点値を有する真正反射モード階調データが発生する。即ち、表示オフ(OFF)または表示オン(ON)以外の階調スケール(gray scale)が発生する。例えば、変換された真正反射モード階調データは1.5、5.25、5.75値の小数点以下と同一である0.25、0.5、0.75の限定された少数点以下値を有する階調スケールを有する。第1反射モード階調データ算出部1312は真正反射モード階調データのうちの整数部分を第1反射モード階調データD1312に出力し、真正反射モード階調データのうちの少数部分を制御データd1314に出力する。真正反射モード階調データのうちの少数部分が0であるとd=0である。また、少数部分が0.25であるとd=1であり、0.5であるとd=2であり、0.75であるとd=3である。

10

【0097】

図28に示すように、フレームカウント部1330は垂直同期信号Vsync1208の入力を受けてフレーム個数をカウントして所定ビットからなったフレームカウント値(Vc)を出力する。例えば、フレームカウント値(Vc)は2ビットからなる。

20

【0098】

第2反射モード階調データ算出部1322aは垂直同期信号Vsync1208を利用して前記階調スケールを処理する。第2反射モード階調データ算出部1322aは第1反射モード階調データを垂直同期信号Vsync1208を利用してN個のフレームに対して時間的に平均化させて第2反射モード階調データ1324を算出する。例えば、Nは4になる。以下に、Nが4をの場合について説明する。

【0099】

具体的に、第2反射モード階調データ算出部1322aは、第1反射モード階調データ算出部1310aから第1反射モード階調データD1312及び所定のビット数を有する制御データd1314の入力を受ける。また、フレームカウント部1330からはフレームカウント値(Vc)1332の入力を受ける。

30

【0100】

例えば、第2反射モード階調データ算出部1322aはマルチプレクサを利用して具現することができる。

【0101】

図30に示すように、第2反射モード階調データ算出部1322aは16*1のマルチプレクサ(MUX)からなる。16*1のマルチプレクサ(MUX)は入力端子として第1反射モード階調データD1312またはD+1値の入力を受ける。ここで、D+1とは、第1反射モード階調データに所定の整数値を加えた値であり、第1反射モード階調データDとD+1とを所定の比率で配列することにより第2反射モード階調データを算出するための値である。また、16*1のマルチプレクサ(MUX)は選択端子で下位ビットLSBとしてフレームカウント値(Vc)、上位ビットMSBとして制御データd1314の入力を受ける。その結果、16*1のマルチプレクサ(MUX)は図31に示したように第2反射モード階調データ1324を出力する。例えば、フレームカウント値(Vc)は2ビット、制御データd1314は2ビットなどから構成し、階調データのビット数を低減する。

40

【0102】

図32に示すように、4個のフレームに対する第2反射モード階調データ1324が示している。d=0である場合、即ち、真正反射モード階調データが少数点以下値が0である場合には4個のフレームに対してD+1が0回示される。d=1である場合、即ち、真正反

50

射モード階調データの少数点以下値が0.25である場合には、4個のフレームに対してD+1が1回示される。例えば、真正反射モード階調データが2.25である場合、D値は2、d=1であり、3回のDと1回のD+1を4個のフレームに対して時間的に平均すると、2.25値が得られる。d=2である場合、即ち、真正反射モード階調データが少数点以下値が0.5である場合には、4個のフレームに対してD+1が2回示される。例えば、真正反射モード階調データが2.5である場合、D値は2、d=2であり、2回のDと2回のD+1を4個のフレームに対して時間的に平均化すると、2.5値が得られる。d=3である場合、即ち、真正反射モード階調データが少数点以下値が0.75である場合には、4個のフレームに対してD+1が3回出力される。例えば、真正反射モード階調データが2.75である場合、D値は2、d=3であり、1回のDと3回のD+1を4個のフレームに対して時間的に平均すると、2.75値が得られる。その結果、第2反射モード階調データを4個のフレームに対して時間的に平均すると、少数点以下値を有する真正反射モード階調データ値を実質的に復元することができる。

10

【0103】

前記のようなN個のフレームに対して時間的に平均化させるために、フレームレートコントロール(Frame Rate Control; FRC)を使用することができる。

【0104】

FRC方式とは、一つの画素に対して表示オフ(OFF)または表示オン(ON)の二進情報を提供する場合、一つの画素に対して表示オフ(OFF)または表示オン(ON)以外のデータを表現するために、階調スケール(gray scale)を得るための方法である。即ち、FRC方式では複数のフレームを1周期にして、この周期うち、表示オフ(OFF)または表示オン(ON)の比率を設定することにより階調スケールを得る。FRC方式では、任意の大きさからなるマトリックスのうち、表示オフ(OFF)または表示オン(ON)からなるパターン(以下、FRCパターンと称する)を形成し、FRCパターンをフレーム毎に転換する。

20

【0105】

図28に示すように、第3反射モード階調データ算出部1326は、第2反射モード階調データ1324に透過モードの階調数と反射モードの階調数の差異分に相当する所定の擬似階調値を埋め込むことにより第3反射モード階調データ1328を算出する。透過モードの階調数が64個であり、反射モードの階調数が48個であると、16個の擬似階調値を前記第2反射モード階調データ1324に付加して総64個の第3反射モード階調データ1328を算出する。その結果、第3反射モード階調データ1328は透過モード階調データと同一であるビット数及び同一な階調数を有する。

30

【0106】

モード判断部1340は透過モードまたは反射モードであるか否かを判断してモード決定信号1344を提供する。例えば、バックライト(B/L)1212がターンオンされる場合には透過モードと判断し、バックライト1212がターンオフされる場合には反射モードと判断することができる。

【0107】

階調データ選択部1350はモード決定信号1344の入力を受けて透過モードである場合には透過モード階調データ1206をデータ駆動回路1220に出力し、反射モードである場合には第3反射モード階調データ1328をデータ駆動回路1220に出力する。例えば、階調データ選択部1350は2*1のマルチプレクサ(MUX)で具現することができる。

40

【0108】

図33は図28の階調データ選択部の一構成例を示すブロック図である。

【0109】

図33に示すように、2*1のマルチプレクサ(MUX)はモード決定信号1344を選択端子に入力され、透過モード階調データ及び第3反射モード階調データ1328の入力を受けてモード決定信号1344の選択により透過モード階調データ1206または第3

50

反射モード階調データ 1 3 2 8 を出力する。

【 0 1 1 0 】

図 3 4 は図 2 7 の制御部の他の構成例を示したブロック図であり、図 3 5 は図 3 4 の第 1 反射モード階調データ算出部に貯蔵された第 1 反射モード階調データ値の一例を示したテーブルである。

【 0 1 1 1 】

図 3 4 に示すように、制御部は第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b、フレームカウンタ部 1 3 3 0、第 2 反射モード階調データ算出部 1 3 2 2 b、第 3 反射モード階調データ算出部 1 3 2 6、反射及び透過モード判断部 1 3 4 0 及び階調データ選択部 1 3 5 0 とを含む。図 3 4 の制御部は図 2 8 の制御部と第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b を除外しては同一な回路構成を有する。

10

【 0 1 1 2 】

第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b は透過モード階調データを反射モード階調データに変換する場合、変換後の階調間隔が非線形的な特性を有する場合に適用することができる。即ち、変換後の階調間隔が非線形的な特性を有する場合、これを予め第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b に貯蔵して置いて、反射モード階調データを算出するに使用する。または、変換後の階調間隔が線形的な場合にも適用することもできる。

【 0 1 1 3 】

第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b は外部のグラフィックコントローラ（図示せず）から各 R・G・B 別に 6 ビットの R・G・B データ 1 2 0 6 の入力を受けて算出した真正反射モード階調データ、第 1 反射モード階調データ D 1 3 1 2 及び制御データ d 1 3 1 4 を貯蔵する。

20

【 0 1 1 4 】

第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b はルックアップ（lookup table）と称し、透過モード有効階調電圧範囲と相異なる反射モード有効階調電圧範囲を反映して少数点値を有する真正反射モード階調データを算出する。図 2 5 に示すように、透過モードで液晶にかかる階調電圧が 0 階調は 1.5 V、6 3 階調は 4 V とする時、反射モードでは 0 V から 3.0 V までの階調電圧のみを使用する。

【 0 1 1 5 】

例えば、3.0 V が 4 7 階調とする時、第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b は 0 乃至 6 3 階調の R・G・B 別透過モード階調データを 0 乃至 4 7 階調に対応させて変換した真正反射モード階調データが貯蔵される。

30

【 0 1 1 6 】

例えば、図 3 5 に示したように、変換された真正反射モード階調データ値が第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b に貯蔵される。

【 0 1 1 7 】

図 3 5 に示すように、0 乃至 6 3 階調の透過モード階調データを 0 乃至 4 7 間の値を有する真正反射モード階調データに変換する場合、整数ではない少数点値を有する真正反射モード階調データが発生する。即ち、表示オフ（OFF）または表示オン（ON）以外の階調スケール（gray scale）が発生する。例えば、変換された真正反射モード階調データは 1.43、2.76、4.33 などのような少数点以下値を有する階調スケールを有する。第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b には、望ましくは非線形的な分布を示す少数点以下値を 0.25、0.5、0.75 の限定された少数点以下値に変換した制御データ d 1 3 1 4 が貯蔵される。例えば、少数点以下値が 0.43 である場合には 0.5 に近いので、0.5 に変換して制御データ d 1 3 1 4 に貯蔵される。また、少数点以下値が 0.76 である場合には 0.75 に近いので、0.75 に変換して制御データ d 1 3 1 4 に貯蔵される。

40

【 0 1 1 8 】

即ち、第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b は真正反射モード階調データのうちの整数部分を有する第 1 反射モード階調データ D 1 3 1 2 と、真正反射モード階調データの

50

うちの少数部分を有する制御データ d 1 3 1 4 を貯蔵する。真正反射モード階調データのうちの少数部分が 0 であると d = 0 であり、小数部分が 0 . 2 5 であると d = 1 である。また、小数部分が 0 . 5 であると d = 2 であり、小数部分が 0 . 7 5 であると d = 3 である。例えば、真正反射モード階調データが 1 . 4 3 である場合、D 値は 1、d = 2 である。また、真正反射モード階調データが 2 . 7 6 である場合、D 値は 2、d = 3 である。

【 0 1 1 9 】

図 3 4 に示すように、フレームカウント部 1 3 3 0 は垂直同期信号 V s y n c 1 2 0 8 の入力を受けてフレーム個数をカウントして所定ビットからなったフレームカウント値 (V c) を出力する。例えば、フレームカウント値 (V c) は 2 ビットからなる。

【 0 1 2 0 】

第 2 反射モード階調データ算出部 1 3 2 2 b は制御データ d 1 3 1 4 及びフレームカウント値 1 3 4 0 を利用して第 1 反射モード階調データを N 個のフレームに対して時間的に平均化させて第 2 反射モード階調データ 1 3 2 4 を算出する。例えば、N は 4 になる。以下に N が 4 を有する場合について説明する。

【 0 1 2 1 】

具体的に、第 2 反射モード階調データ算出部 1 3 2 2 b は第 1 反射モード階調データ貯蔵部 1 3 1 0 b から第 1 反射モード階調データ D 1 3 1 2 及び所定のビット数を有する制御データ 1 3 1 4 の入力を受けて、フレームカウント部 1 3 3 0 からはフレームカウント値 (V c) 1 3 3 2 の入力を受ける。例えば、第 2 反射モード階調データ算出部 1 3 2 2 b はマルチプレクサ (M U X) を利用して具現することができる。

【 0 1 2 2 】

前記のような N 個のフレームに対して時間的に平均化させるために、フレームレートコントロール (F r a m e R a t e C o n t r o l ; F R C) を使用することができる。

【 0 1 2 3 】

第 3 反射モード階調データ算出部 1 3 2 6 は第 2 反射モード階調データ 1 3 2 4 に透過モードの階調数と反射モードの階調数の差異分に相当する所定の擬似階調値を埋め込むことにより第 3 反射モード階調データ 1 3 2 8 を算出する。

【 0 1 2 4 】

反射及び透過モード判断部 1 3 4 0 は透過モードまたは反射モードであるか否かを判断してモード決定信号 1 3 4 4 を提供する。例えば、バックライト 1 2 1 2 がターンオンされる場合には透過モードと判断し、バックライト 1 2 1 2 がターンオフされる場合には反射モードと判断することができる。

【 0 1 2 5 】

階調データ選択部 1 3 5 0 はモード決定信号 1 3 4 4 の入力を受けて透過モードである場合には透過モード階調データ 1 2 0 6 をデータ駆動回路 1 2 2 0 に出力し、反射モードである場合には第 3 反射モード階調データ 1 3 2 8 をデータ駆動回路 1 2 2 0 に出力する。例えば、階調データ選択部 1 3 5 0 は 2 * 1 のマルチプレクサ (M U X) で具現することができる。

【 0 1 2 6 】

図 3 6 は本発明の第 5 実施形態による階調データを算出する過程を示す順序図である。

【 0 1 2 7 】

図 3 6 に示すように、まず、透過モード階調データの入力を受けて (段階 2 2 0 1)、透過モード有効階調電圧範囲に対する透過モード階調データの対応関係を利用して反射モード有効階調電圧範囲に対応する真正反射モード階調データを算出する (段階 2 2 0 3)。その後、真正反射モード階調データ内の整数部分を抽出して第 1 反射モード階調データ D を算出し (段階 2 2 0 5)、真正反射モード階調データ内の少数点以下部分を抽出して制御データ d を算出する (段階 2 2 0 7)。制御データ d は、例えば二進数を有するように変換されている。

【 0 1 2 8 】

一つのフレームを周期にして出力されるフレーム同期信号及び制御データを利用して N 個

10

20

30

40

50

のフレームを周期にして前記第 1 反射モード階調データと前記第 1 反射モード階調データに所定の整数値を加えた値とを所定の比率に配列し、第 2 反射モード階調データを算出する(段階 2 2 0 9)。

【 0 1 2 9 】

第 2 反射モード階調データに透過モード階調数と反射モード階調数の差異分に相当する所定の擬似階調値を埋め込むことにより第 3 反射モード階調データを算出する(段階 2 2 1 1)。

【 0 1 3 0 】

その後、透過モードまたは反射モードであるか否かを判断し(段階 2 2 1 3)、判断の結果、反射モードである場合に第 3 反射モード階調データを出力し(段階 2 2 1 5)、透過モードである場合に透過モード階調データを出力する(段階 2 2 1 7)。

10

【 0 1 3 1 】

図 3 7 は図 3 6 の第 1 反射モード階調データを算出する過程を示す順序図である。即ち、図 3 7 は例えば、式 1 のような所定の演算式を利用して第 1 反射モード階調データを算出する過程を示す。

【 0 1 3 2 】

図 3 7 に示すように、まず、透過モード階調電圧範囲と反射モード階調電圧範囲間の比率(x)を算出する(段階 2 3 0 1)。透過モード階調データで前記比率(x)及び時間的に平均しようとするフレームの個数(N)を掛けて(段階 2 3 0 3)、その結果に階調別にオフセット値(y)を加える(段階 2 3 0 5)。前記オフセット値(y)を加えた値をフレームの個数 N に分けて第 1 反射モード階調データを算出し(段階 2 3 0 7)、図 2 2 の段階 2 2 0 9 に戻る。

20

【 0 1 3 3 】

本発明による階調電圧発生装置、階調電圧発生方法及びこれを利用した反射 - 透過型液晶表示装置は 2 インチ以下の画面を有する移動端末機に適用されることができ、また、ノートブックコンピュータ、PDA のような携帯端末機(PDA)にも適用することができる。

【 0 1 3 4 】

以上、本発明の実施例によって詳細に説明したが、本発明はこれに限定されず、本発明が属する技術分野において通常の知識を有するものであれば本発明の思想と精神を離れることなく、本発明を修正または変更できるであろう。

30

【 0 1 3 5 】

【発明の効果】

本発明によると、反透過型液晶表示装置は適切なねじれ角、及びキラル(Chiral)ドープ剤及びセルギャップを有するように液晶層を構成することにより、反射モードと透過モード全てで優れている特性を有する。

【 0 1 3 6 】

また、本発明によると、階調電圧発生装置及び方法では反透過型液晶表示装置の反射モードと透過モードを自動的に判断して反射モードまたは透過モード各々に最適化された共通電圧またはガンマ基準電圧を印加することにより、透過モードだけでなく、反射モードでも優れている特性を提供することができる。

40

【 0 1 3 7 】

また、反射モードまたは透過モードに対して同一な共通電圧または同一なガンマ基準電圧を印加する場合にも透過モードの $V-T$ 曲線と相異なる特性を有する反射モードの $V-R$ 曲線の輝度特性を反映して透過モード階調データを反射モード階調データに変換することにより、透過モードだけでなく、反射モードでも優れている特性を提供することができる。

【 0 1 3 8 】

また、本発明によると、階調電圧発生装置及び方法では反射モードまたは透過モード各々相異なる共通電圧またはガンマ基準電圧を本発明による適切なねじれ角、及びキラル(C

50

h i r a l) ドープ剤及びセルギャップを有する液晶層からなつた反透過型液晶表示パネルに提供することにより、反射モード及び透過モードでさらに優れている特性を提供することができる。

【 0 1 3 9 】

また、反射モードまたは透過モードに対して同一な共通電圧または同一なガンマ基準電圧を印加する場合にも透過モードの V - T 曲線と相異なる特性を有する反射モードの V - R 曲線の輝度特性を反映して透過モード階調データを反射モード階調データに変換して、本発明による適切なねじれ角、及びキラル (C h i r a l) ドープ剤及びセルギャップを有する液晶層からなつた反透過型液晶表示パネルに提供することにより、反射モード及び透過モードでさらに優れている特性を提供することができる。

10

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 本発明の第 1 実施形態による液晶表示装置の断面図である。

【 図 2 】 本発明の第 1 実施形態による液晶表示装置用薄膜トランジスタ基板の配置図である。

【 図 3 】 図 2 の III - III 線に対する断面図である。

【 図 4 】 本発明の第 1 実施形態による TN モードでの液晶のねじれ角及び n_d による V - T 曲線を示したグラフである。

【 図 5 】 本発明の第 1 実施形態による TN モードでの液晶のねじれ角及び n_d による V - T 曲線を示したグラフである。

【 図 6 】 本発明の第 1 実施形態による TN モードでの液晶のねじれ角及び n_d による V - T 曲線を示したグラフである。

20

【 図 7 】 本発明の第 1 実施形態による TN モードでの液晶のねじれ角及び n_d による V - T 曲線を示したグラフである。

【 図 8 】 本発明の第 1 実施形態による TN モードでの液晶のねじれ角及び n_d による V - T 曲線を示したグラフである。

【 図 9 】 本発明の第 1 実施形態による TN モードでの液晶のねじれ角及び n_d による V - R 曲線を示したグラフである。

【 図 1 0 】 本発明の第 1 実施形態による TN モードでの液晶のねじれ角及び n_d による V - R 曲線を示したグラフである。

【 図 1 1 】 本発明の第 1 実施形態による TN モードでの液晶のねじれ角及び n_d による V - R 曲線を示したグラフである。

30

【 図 1 2 】 本発明の第 1 実施形態による TN モードでの液晶のねじれ角及び n_d による V - R 曲線を示したグラフである。

【 図 1 3 】 本発明の第 1 実施形態による TN モードでの液晶のねじれ角及び n_d による V - R 曲線を示したグラフである。

【 図 1 4 】 本発明の第 2 実施形態による液晶表示装置の断面図である。

【 図 1 5 】 本発明の第 2 実施形態による VA モードでのドープ剤量及び n_d による V - T 曲線を示したグラフである。

【 図 1 6 】 本発明の第 2 実施形態による VA モードでのドープ剤量及び n_d による V - T 曲線を示したグラフである。

40

【 図 1 7 】 本発明の第 2 実施形態による VA モードでのドープ剤量及び n_d による V - T 曲線を示したグラフである。

【 図 1 8 】 本発明の第 2 実施形態による VA モードでのドープ剤量及び n_d による V - T 曲線を示したグラフである。

【 図 1 9 】 本発明の第 2 実施形態による VA モードでのドープ剤量及び n_d による V - R 曲線を示したグラフである。

【 図 2 0 】 本発明の第 2 実施形態による VA モードでのドープ剤量及び n_d による V - R 曲線を示したグラフである。

【 図 2 1 】 本発明の第 2 実施形態による VA モードでのドープ剤量及び n_d による V - R 曲線を示したグラフである。

50

【図 2 2】 本発明の第 2 実施形態による V A モードでのドープ剂量及び $n d$ による V - R 曲線を示したグラフである。

【図 2 3】 V A モードでの印加電圧による透過率曲線と反射率曲線を示したグラフである。

【図 2 4】 E C B モードでの印加電圧による透過率曲線と反射率曲線を示したグラフである。

【図 2 5】 透過モードと反射モードでの印加電圧による透過率曲線と反射率曲線を示したグラフである。

【図 2 6】 本発明の第 3 実施形態による液晶表示装置のブロック図である。

【図 2 7】 本発明の第 4 実施形態による液晶表示装置のブロック図である。

【図 2 8】 図 2 7 の制御部の一構成例を示したブロック図である。

【図 2 9】 図 2 8 の第 1 反射モード階調データ算出部を利用して算出される第 1 反射モード階調データの一例を示すテーブルである。

【図 3 0】 図 2 8 の第 2 反射モード階調データ算出部の一構成例を示すブロック図である。

【図 3 1】 図 3 0 のマルチプレクサの制御入力値による出力値を示すテーブルである。

【図 3 2】 図 3 1 の出力値をフレーム別に示す概念図である。

【図 3 3】 図 2 8 の階調データ選択部の一構成例を示すブロック図である。

【図 3 4】 図 2 7 の制御部の他の構成例を示すブロック図である。

【図 3 5】 図 3 4 の第 1 反射モード階調データ貯蔵部に貯蔵された第 1 反射モード階調データ値の一例を示すテーブルである。

【図 3 6】 本発明の第 5 実施形態による階調データを算出する過程を示す順序図である。

【図 3 7】 図 3 6 の第 1 反射モード階調データを算出する過程を示す順序図である。

【符号の説明】

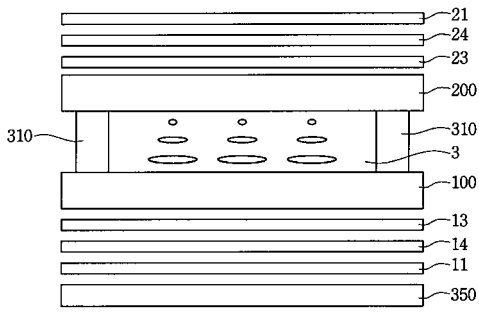
- 1 1 下部偏光板
- 2 1 上部偏光板
- 1 3、1 4 下部補償フィルム
- 2 3、2 4 上部補償フィルム
- 1 0 0 薄膜トランジスタ基板
- 2 0 0 カラーフィルタ基板
- 1 3 0 0 制御部
- 1 3 1 0 a 第 1 反射モード階調データ算出部
- 1 3 1 0 b 第 1 反射モード階調データ貯蔵部
- 1 3 2 2 第 2 反射モード階調データ算出部
- 1 3 2 6 第 3 反射モード階調データ算出部
- 1 3 3 0 フレームカウント部
- 1 3 4 0 共通電圧発生部
- 1 3 5 0 ガンマ基準電圧発生部

10

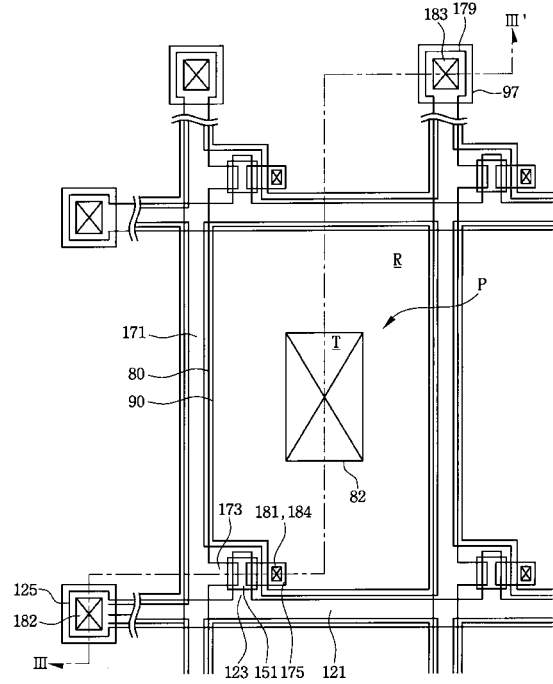
20

30

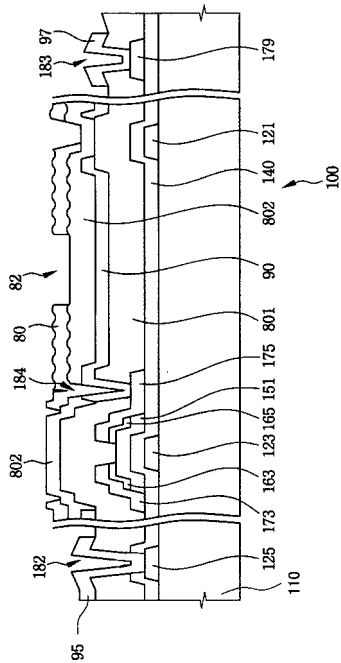
【図1】



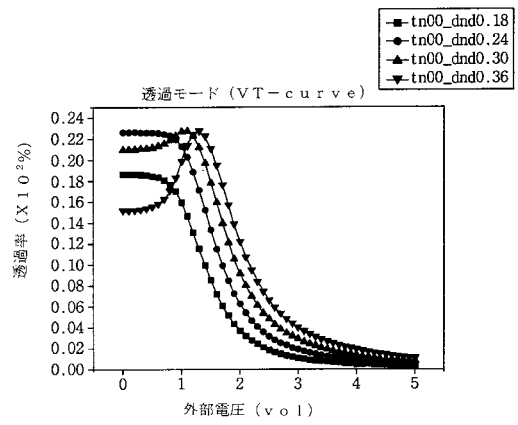
【図2】



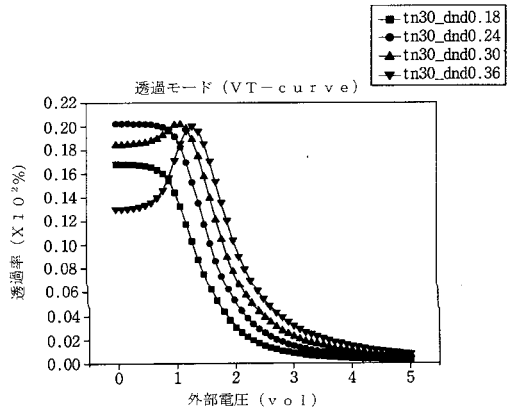
【図3】



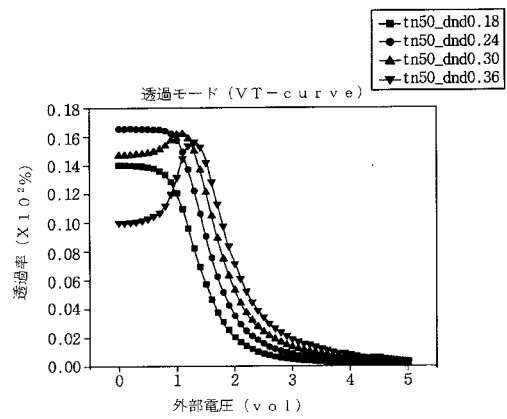
【図4】



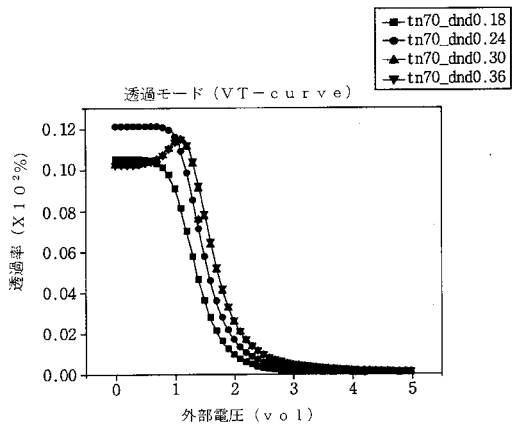
【図5】



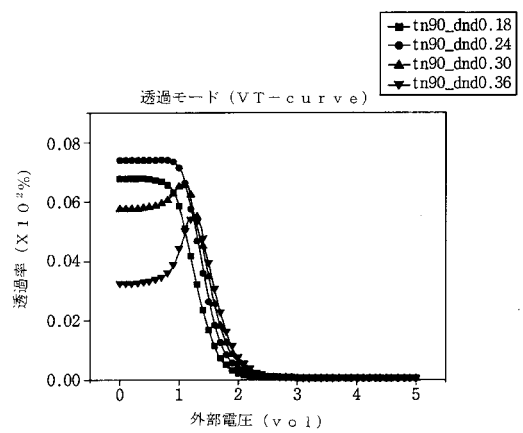
【図6】



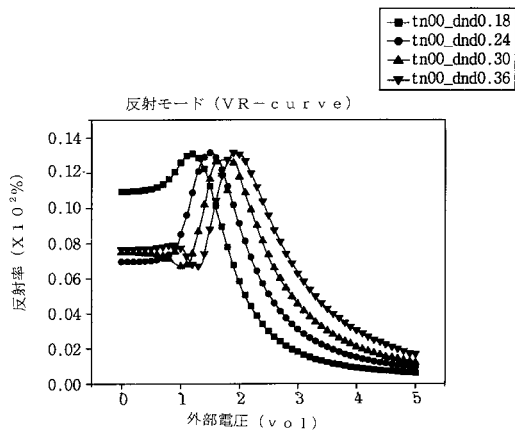
【図7】



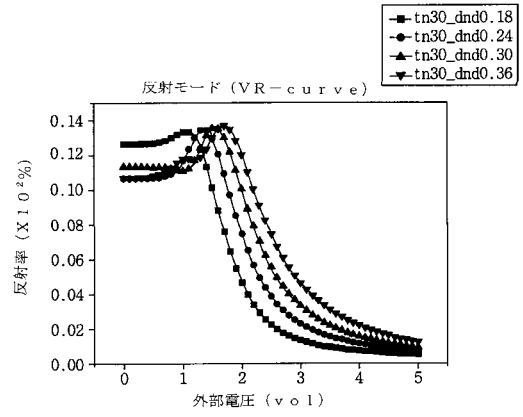
【図8】



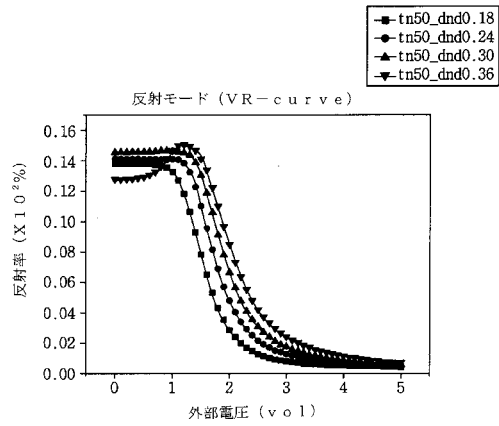
【図 9】



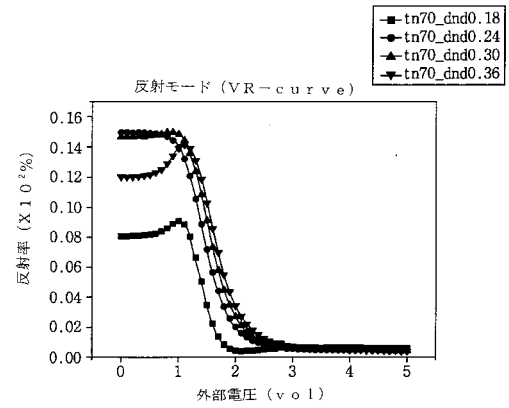
【図 10】



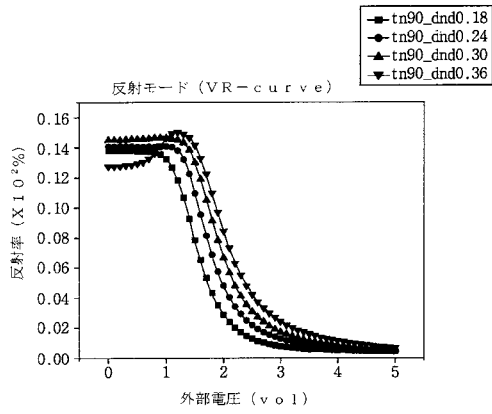
【図 11】



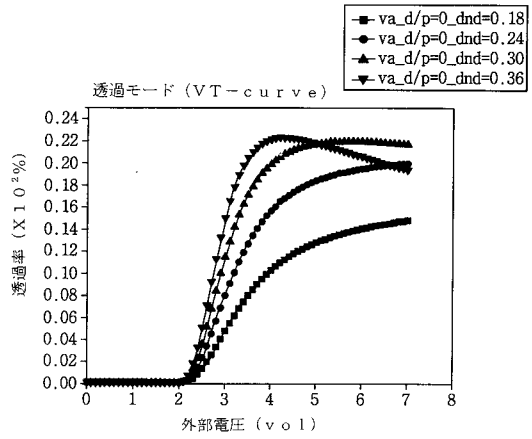
【図 12】



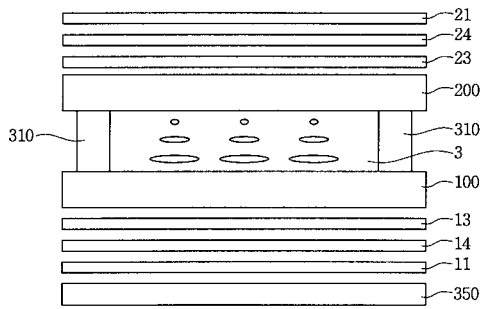
【図13】



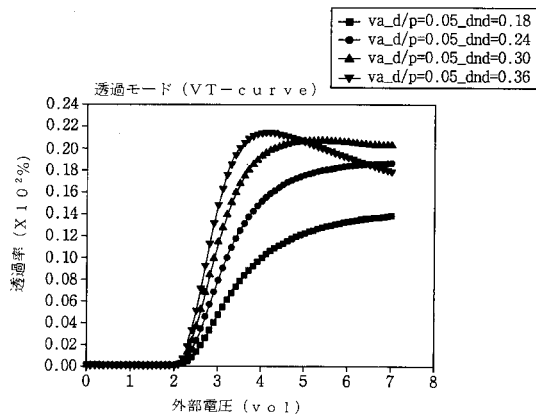
【図15】



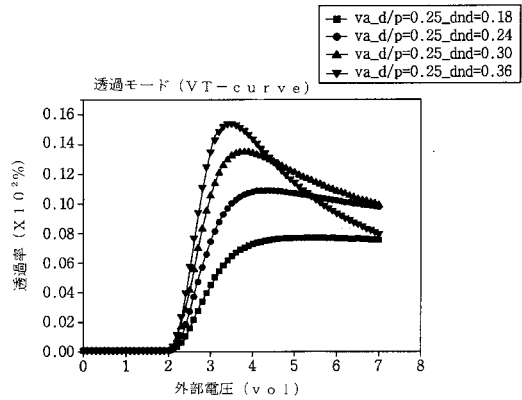
【図14】



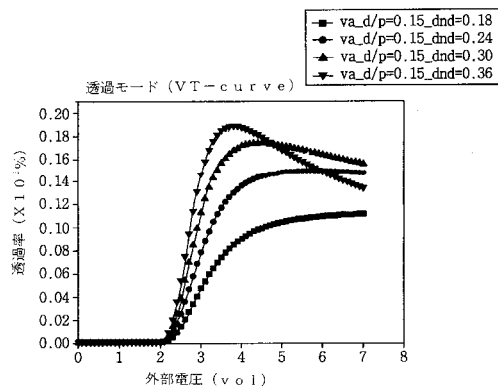
【図16】



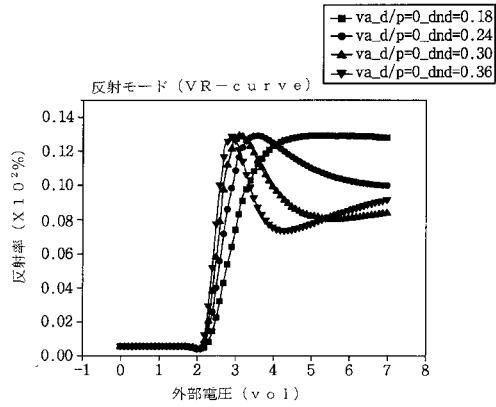
【図18】



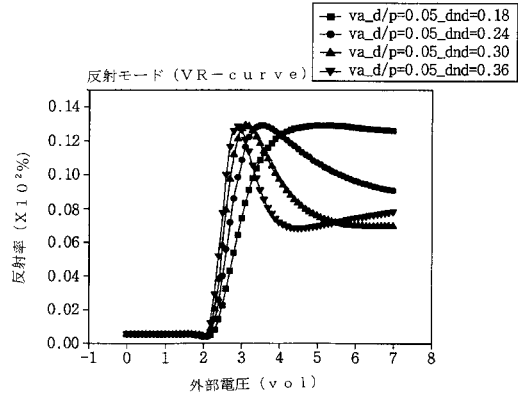
【図17】



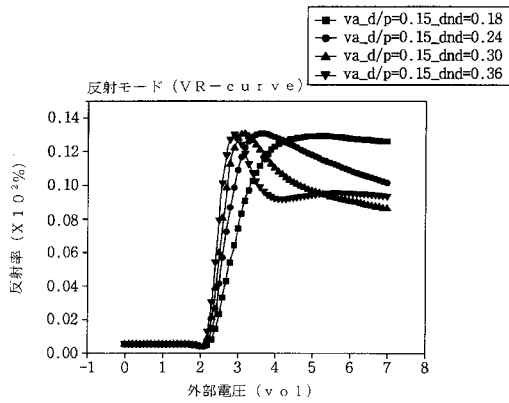
【図19】



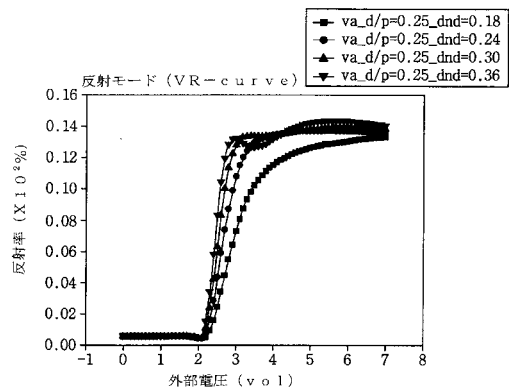
【図20】



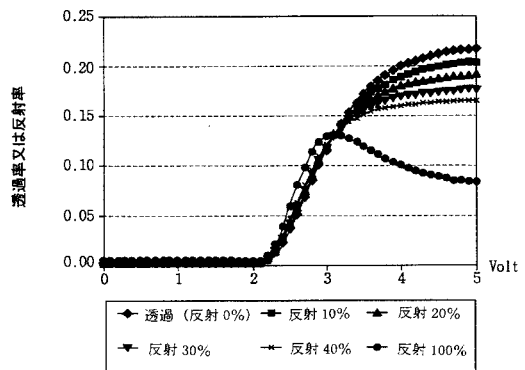
【図21】



【図22】



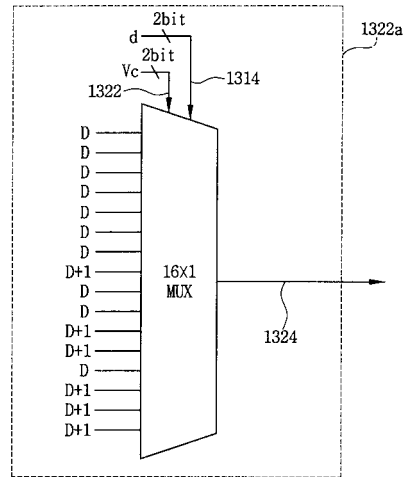
【図23】



【図 29】

透過モード 階調データ	Gn(T)×0.75	OFFSET(y)	真正反射モード 階調データ Gn(R)
0	0	0	0
1	0.75	0	0.75
2	1.5	0	1.5
3	2.25	-1	2.0
4	3.0	0	3.0
5	3.75	-1	3.5
6	4.5	0	4.5
7	5.25	0	5.25
8	6.0	-1	5.75
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮
63	47.25	0	47.25

【図 30】



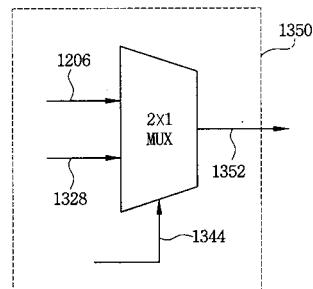
【図 31】

d		Vc		第2反射モード 階調データ
di	do	Vci	Vco	
0	0	0	0	D
0	0	0	1	D
0	0	1	0	D
0	0	1	1	D
0	1	0	0	D
0	1	0	1	D
0	1	1	0	D
0	1	1	1	D+1
1	0	0	0	D
1	0	0	1	D
1	0	1	0	D+1
1	0	1	1	D+1
1	1	0	0	D
1	1	0	1	D+1
1	1	1	0	D+1
1	1	1	1	D+1

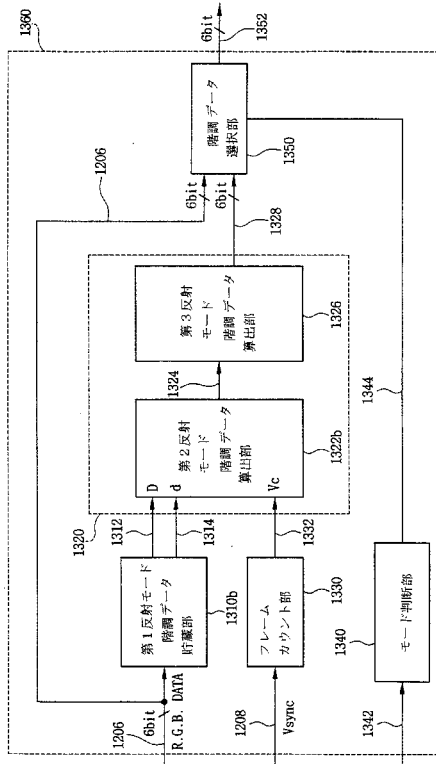
【図 32】

Vc	d			
	0	1	2	3
0	D	D	D	D
1	D	D	D	D+1
2	D	D	D+1	D+1
3	D	D+1	D+1	D+1

【図 33】



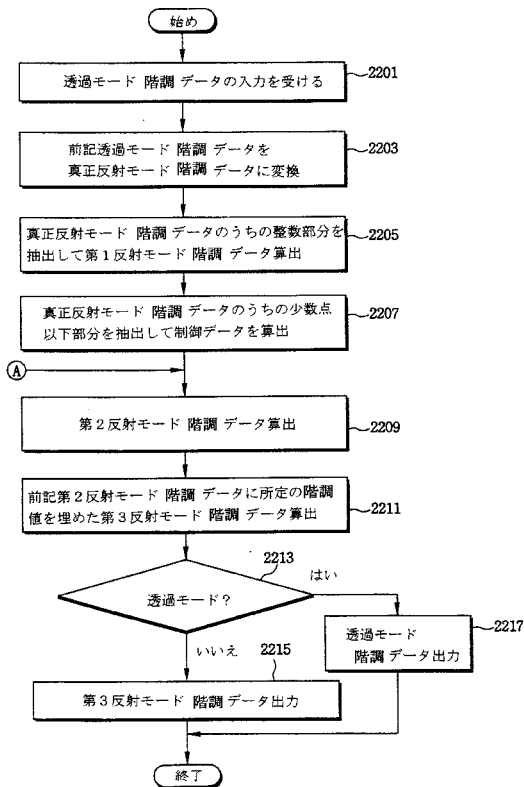
【図34】



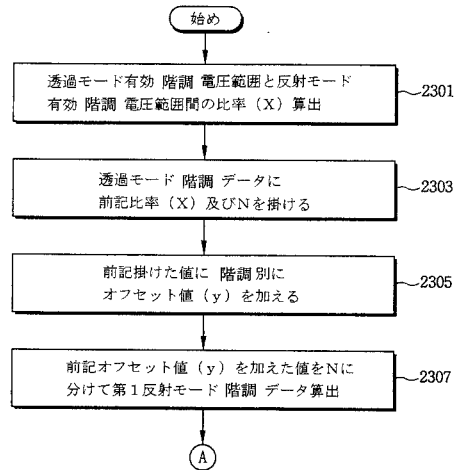
【図35】

透過モード階調データ $G_n(T)$	ルックアップテーブル 貯蔵値
0	0
1	0.7
2	1.43
3	2.12
4	2.76
5	3.52
6	4.33
7	5.05
8	5.72
...	...
63	47.0

【図36】



【図37】



フロントページの続き

(51) Int.Cl. F I
G 0 9 G 3/34 (2006.01)
 G 0 9 G 3/20 6 1 2 U
 G 0 9 G 3/20 6 2 1 K
 G 0 9 G 3/20 6 2 4 C
 G 0 9 G 3/20 6 3 2 C
 G 0 9 G 3/20 6 4 1 E
 G 0 9 G 3/20 6 4 1 Q
 G 0 9 G 3/20 6 4 2 E
 G 0 9 G 3/20 6 4 2 L
 G 0 9 G 3/34 J

- (72)発明者 朴 哲 佑
 大韓民国京畿道水原市八達区梅灘2洞韓国1次アパート102棟601号
- (72)発明者 金 兌 奂
 大韓民国ソウル市広津区九宜3洞現代プライムアパート1棟2606号
- (72)発明者 司空 同軾
 大韓民国京畿道城南市盆唐区書現洞示範三星アパート133棟1101号
- (72)発明者 梁 英 チョル
 大韓民国京畿道軍浦市衿井洞住公アパート2団地220棟1201号
- (72)発明者 朴 源 祥
 大韓民国京畿道龍仁市仇城面上下里水原洞マウル双龍アパート302棟2001号
- (72)発明者 金 在 昌
 大韓民国釜山広域市金井区長箭洞サン30番地釜山大学校
- (72)発明者 金 相 日
 大韓民国京畿道水原市八達区靈通洞黄骨碧山アパート255棟1601号

審査官 後藤 亮治

- (56)参考文献 特開2000-193936(JP,A)
 特開平08-272338(JP,A)
 特開平11-015444(JP,A)
 特開2000-056294(JP,A)
 特開2000-147455(JP,A)
 特開平11-264964(JP,A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
 G09G 3/00 - 3/38
 G02F 1/133

专利名称(译)	灰度电压发生器和灰度电压产生方法以及使用其的反射 - 透射液晶显示装置		
公开(公告)号	JP4486319B2	公开(公告)日	2010-06-23
申请号	JP2003130602	申请日	2003-05-08
[标]申请(专利权)人(译)	三星电子株式会社		
申请(专利权)人(译)	三星电子株式会社		
当前申请(专利权)人(译)	三星电子株式会社		
[标]发明人	朴哲佑 金兑奂 司空同軾 梁英子ヨル 朴源祥 金在昌 金相日		
发明人	朴哲佑 金兑奂 司空同軾 梁英 ▲子ヨル▼ 朴源祥 金在昌 金相日		
IPC分类号	G09G3/36 G02F1/133 G02F1/1335 G02F1/13363 G09G3/20 G09G3/34		
CPC分类号	G09G3/2011 G09G3/3648 G09G3/3655 G09G2300/0456 G09G2320/0673		
FI分类号	G09G3/36 G02F1/133.575 G02F1/1335.520 G02F1/13363 G09G3/20.612.F G09G3/20.612.U G09G3/20.621.K G09G3/20.624.C G09G3/20.632.C G09G3/20.641.E G09G3/20.641.Q G09G3/20.642.E G09G3/20.642.L G09G3/34.J		
F-TERM分类号	2H091/FA08X 2H091/FA08Z 2H091/FA11X 2H091/FA11Z 2H091/FA16Y 2H091/FA41Z 2H091/GA11 2H091/GA13 2H091/HA06 2H091/HA07 2H091/HA09 2H091/KA02 2H091/KA03 2H091/KA04 2H091/LA17 2H093/NA16 2H093/NA52 2H093/NA53 2H093/NA55 2H093/NC18 2H093/NC28 2H093/NC34 2H093/NC41 2H093/ND06 2H093/NE06 2H093/NF04 2H093/NF05 2H093/NF09 2H093/NH18 2H191/FA02Y 2H191/FA14Y 2H191/FA22X 2H191/FA22Z 2H191/FA30X 2H191/FA30Z 2H191/FA34Y 2H191/FA81Z 2H191/FD09 2H191/FD12 2H191/FD22 2H191/FD26 2H191/GA17 2H191/HA06 2H191/HA11 2H191/KA02 2H191/KA04 2H191/KA05 2H191/LA15 2H191/LA40 2H191/NA32 2H191/NA34 2H191/NA37 2H191/PA42 2H191/PA44 2H191/PA52 2H191/PA53 2H191/PA73 2H193/ZA04 2H193/ZD22 2H193/ZD23 2H193/ZD25 2H193/ZE23 2H193/ZF13 2H193/ZF59 2H193/ZQ06 2H193/ZQ08 2H193/ZQ11 2H291/FA02Y 2H291/FA14Y 2H291/FA22X 2H291/FA22Z 2H291/FA30X 2H291/FA30Z 2H291/FA34Y 2H291/FA81Z 2H291/FD09 2H291/FD12 2H291/FD22 2H291/FD26 2H291/GA17 2H291/HA06 2H291/HA11 2H291/KA02 2H291/KA04 2H291/KA05 2H291/LA15 2H291/LA40 2H291/NA32 2H291/NA34 2H291/NA37 2H291/PA42 2H291/PA44 2H291/PA52 2H291/PA53 2H291/PA73 5C006/AA14 5C006/AA22 5C006/AC21 5C006/AC25 5C006/AF44 5C006/AF46 5C006/BB16 5C006/BB28 5C006/BC12 5C006/BC16 5C006/BF02 5C006/BF08 5C006/BF22 5C006/BF24 5C006/BF43 5C006/FA03 5C006/FA04 5C080/AA10 5C080/BB05 5C080/CC03 5C080/DD01 5C080/DD26 5C080/EE26 5C080/EE29 5C080/FF03 5C080/FF07 5C080/FF11 5C080/GG12 5C080/GG17 5C080/JJ02 5C080/JJ05 5C080/JJ06 5C080/JJ07 5C080/KK07		
优先权	1020020025539 2002-05-09 KR		

其他公开文献

JP2004004828A

外部链接

[Espacenet](#)

摘要(译)

提供一种灰度电压产生装置，灰度电压产生方法和使用该灰度电压产生装置的反射透射型液晶显示装置。本发明的灰度电压产生方法转换对应于真实反射模式灰度数据的透明模式灰度数据，计算真实反射模式灰度数据的整数部分作为第一反射模式灰度数据，计算小数部分作为控制数据，将通过将预定整数加到第一反射模式灰度数据获得的值和具有N帧的第一反射模式灰度数据排列为预定比率的周期，填充伪灰度值。它可以转换为反射模式的灰度数据反射从传输模式，以及传输模式的特性与VT曲线反射模式的VR曲线的亮度特性和不同的传输模式的灰度数据，还具有优异的反射模式可以提供特征。（图28）

TN モード									
Mode		透過型				反射型			
ねじれ角	Δnd	透過率(%)	CR	電圧(v)	CR	電圧(v)	反射率(%)	CR	電圧(v)
0 (ECB)	0.18	18.5	50:1	0.5-4.5			13.1	18:1	1.2-4.5
	0.24	22.5	35:1	0.7-4.5			13.2	12:1	1.5-4.5
	0.30	22.7	23:1	1.1-4.5			13.1	8.4:1	1.7-4.5
	0.36	22.8	16:1	1.3-4.5			13.2	5.9:1	1.9-4.5
30	0.18	17.0	58:1	0.5-4.1			13.3	22:1	1.0-4.5
	0.24	20.2	41:1	0.7-4.2			13.4	15:1	1.3-4.5
	0.30	20.3	26:1	1.1-4.5			13.5	12:1	1.5-4.5
	0.36	20.1	18:1	1.3-4.1			13.7	8.4:1	1.7-4.5
50	0.18	13.9	82:1	0.5-4.2			13.8	28:1	0.7-4.5
	0.24	16.5	57:1	0.7-4.5			14.2	23:1	0.9-4.5
	0.30	16.3	37:1	1.1-4.5			14.8	21:1	1.1-4.5
	0.36	15.7	25:1	1.3-4.5			15.2	17:1	1.2-4.5
70 (TN)	0.18	10.4	162:1	0.5-4.5	72:1	0.5-3.5	9.1	15:1	1.0-3.5
	0.24	12.0	120:1	0.7-4.5	64:1	0.7-3.5	14.8	30:1	0.7-3.5
	0.30	11.3	76:1	1.1-4.5	39:1	1.1-3.5	14.9	30:1	0.9-3.5
	0.36	11.4	74:1	1.1-4.5	38:1	1.1-3.5	14.1	26:1	1.1-3.5
90 (TN)	0.18	6.8	354:1	0.5-4.5	307:1	0.5-3.0	10.2	18:1	0.5-3.0
	0.24	7.4	385:1	0.7-4.5	286:1	0.7-3.0	11.7	20:1	0.6-3.0
	0.30	6.6	334:1	1.1-4.5	200:1	1.1-3.0	10.9	18:1	0.9-3.0
	0.36	5.4	266:1	1.2-4.5	126:1	1.2-3.0	9.1	15:1	1.0-3.0